

「すいた市民自治」会派は「市民が主役の社会」の実現をめざし、活動してまいります。

3月議会代表質問 (池淵)

指定管理者制度にはモニタリングを

質問 千代田区では当初の事業計画が履行されているかを単に事業報告書を受け取るだけでなく、実際に現場確認、立ち入り調査を行っています。また、公益通報保護制度を活用し、指定管理者に施設を任せている区としての責任を遂行し、区民・利用者の視点からのモニタリングとして、利用者懇談会やアンケートを実施しています。吹田市も千代田区のようなモニタリングを実施すべきでは？

回答 2009年4月から指定管理者との基本協定書には下記の項目を追加している。
○月次及び年次報告書等の提出
○指定管理者の団体本体の経営状況を確認するために、団体の財務諸表等の提出
○アンケート等利用者ニーズの把握を義務付け
さらに、労働関係法令等関係法令の遵守を求めるとともに、基本協定書及び仕様書等、事業計画書、管理の状況についてチェックリストを用いて確実にモニタリングを実施する。
○モニタリングについて専門家の意見を聞く制度についても検討していきたい。

開かれた出前市長室の開催を

質問 連合自治会を主体とする地域の役員対象の閉じられた場所での出前市長室の開催ではなく、出前市長室の開催を地域にお知らせし、地域の人であれば自由に参加できるようにすべきと思いますが、いかがでしょうか？

回答 地域での出前市長室は、あらかじめ地域で話し合ったことをもとに市長と情報交換をし、今後の市政運営の参考にしており、開催日時、場所等を「公民館だより」等で地域住民に広報している。

*地域によっては「公民館だより」に掲載されないこともあるので、市のHPでも広報することも提案しています。
このほか、「予算編成と財政見直し」「環境世界都市」など質問しています。



3月議会個人質問(西川)

吹田市民病院に関する数点の質問

質問 建替えの必要性について
回答 昭和57年9月の開設以来26年が経過。建物の法定耐用年数は39年だが、耐用年数の短い付属設備は順次更新している。建替えの具体的検討はないが、「市立吹田市民病院のあり方検討委員会」で方向性を見出していきたい。

質問 公立病院改革で求められる「救急」「小児」「周産期」医療の現状について
回答 地域の急性期病院としての役割とともに、病院改革で求められる3医療についても、近隣病院との連携を図り、医師の確保に努める。

質問 人件費、減価償却費、病床利用率について、他病院との比較を示せ。また病院改革プランにおける経常収支比率と病床利用率についての基準クリアの見通しは。

回答 他病院との数値比較は次の通り。

	職員給与比率 (%)	減価償却比率 (%)	病床利用率 (%)
市民病院	54.8	7.8	79.1
市立豊中病院	52.5	9.8	91.9
市立池田病院	54.5	11.1	91.3
箕面市立病院	55.7	12.1	84.0

また、公立病院改革プランでは、経常収支比率は100%、病床利用率は85%以上を求めている。経営改善に取り組み達成したい。

質問 一般会計からの繰り入れ基準を明確にせよ。
回答 「地方公営企業法第17条の2」に定める経費の負担の原則、および総務省から出される「地方公営企業繰り出し金について」の通知などの基準を遵守することを基本として今後も繰り出し金の負担をお願いしたい。

安心安全の町づくりに関する質問

質問 被災時のための公衆電話の確保をNTTにもとめよ。
回答 災害発生時には、公衆電話は家庭の加入電話や携帯電話より回線確保が優先される。第1種公衆電話は市街地は500メートル四方に一台、第2種は、利用額4,000円以上のものは確保と確認している。

新年度の豊富

「すいた市民自治」会派議員からのメッセージ

安心して暮らせる町、
その原点は平和です。
戦後の日本を育んできた
「平和」と「自由」、
そして「民主主義」を大切にしていきます。
安心して暮らせる町「吹田市」
その実現を目指した「5つの約束」です。



西川たけお

- ◆ 市財政の健全化を強く提言していきます
人口減少時代に適合した組織のスリム化をはかります。
- ◆ 徹底した市政へのチェックを行います
今必要なこと、将来のために必要なこと、を「選択と集中」で明確にします。
- ◆ 開かれた議会の実現に努めます
「知る権利」から「参加・参画する権利」へと推し進めます。
- ◆ 地域や市民の声を伝えます
生活弱者が安心して暮らせる施策を充実します。
- ◆ 故郷といえる町づくりをします
今ある自然を大切に、地域ぐるみで次代に伝えます。

「いけぶち佐知子」は、
「未来にまっすぐ 市政にまっすぐ」
をモットーに、
下の基本理念のもと、
市民自治を目指して、
まっすぐに取り組んでいます。



いけぶち佐知子

- 子どもも大人も、女性も男性も一人ひとりが大切にされる社会を
- 安心して子どもを産み育て安心して老いることのできる地域を
- 行政主導のまちづくりから市民が真ん中のまちづくりへ
- 環境・歴史文化と共生し、都市景観を"育てる・創る"持続可能なまちづくり
- 市民の目線で行財政の無理、無駄チェック
日々の活動を発信しています。

ブログもどうぞ <http://blog.goo.ne.jp/gogonet21/>

平成21年度予算要望への回答

40項目の要望の中から抜粋して報告いたします。

市政運営の見える化

要望 財政状況について、バランスシートや行政コスト計算書を市報やホームページで公表しているが、年に最低一度は市民向け財政説明会を開催すること。

回答 市民向けの説明会の実施については今後、検討していきます。

（「市が実施しないのであれば、会派として学習会を企画しましょう」ということで開催したのが4月11日のすいた市民自治学習会です。内容はTOPICSをご覧ください）

要望 「市有建築物保全システム」を確立し、保全計画を工程表の形で公表すること。

回答 「市有建築物保全システム」の構築につきましては、平成21年度(2009年度)から順次、取組を進める予定でございます。また、保全計画の公表につきましては、関係部局間で検討してまいります。

行政・市民・事業者の協働

要望 外部事業者への委託事業についての（内外からの）苦情処理機関を設置すること。とりわけ、高齢者、乳幼児、児童、障害者などからの声をくみ上げる機関を設置すること。

回答 委託業務に係る苦情、要望等につきましては、各業務の担当部局間で対応しているところでございますが、全庁統一の苦情処理機関等の設置につきましては、今後研究してまいりたいと考えております。

環境美化

要望 禁煙ゾーンの周知に鉄道・バスのアナウンスなど公共交通事業者の協力を求めること。

回答 喫煙禁止地区の周知のため、公共交通事業者に協力を要望していきます。（現在、JR吹田駅、地下鉄・北大阪急行江坂駅、阪急北千里駅のそれぞれ駅周辺地区を喫煙禁止地区に指定しています）



安心・安全のまちづくり

要望 公共施設及び学校施設の耐震化を急ぐこと。また各施設にAEDを設置すること。

回答 市有建築物の耐震化につきましては、関係部局間で調整し、早期に実施できるように取り組んでまいります。特に学校施設の耐震化につきましては、災害時の避難場所でもあることから、児童・生徒はもちろんのこと、地域住民の安心・安全面からも屋内運動場の耐震改修を優先して平成12年度（2000年度）から年次的に実施しており、平成23年度（2011年度）に小・中学校の屋内運動場の耐震化を完了する予定でございます。校舎につきましては、平成20年（2008年）6月に地震防災対策特別措置法の一部改正が施行されたことにより、今回、耐震化計画の見直しを行い、平成27年度（2015年度）末で100パーセント完了するよう耐震二次診断及び耐震補強工事を2年前倒しし、実施してまいりたいと考えております。

AEDの設置につきましては、必要な施設から設置を進めており、平成21年度（2009年度）には、小学校や児童福祉施設、社会教育施設などでの設置を予定しております。



市役所ロビーのAED

学校教育の充実

要望 学校図書司書の全校配置や市立図書館司書との連携を行うこと。現在の読書活動支援者を小・中学校とも1校に1人の配置にすること。

回答 2002年度から読書活動支援者配置事業を実施し、学校図書館教育及び「生きる力」を育む教育の充実に努めています。市立図書館司書との連携を図っていきます。（予算の関係で1校1人の配置にはできていないのが現状です）



TOPICS

1月に新型インフルエンザ対策行動計画まとまる

吹田市では、平成20年3月に「安心安全の都市づくり宣言」をおこない、同年8月から、市、保健所、警察署、および関係機関や関係団体によって「吹田市新型インフルエンザ対策会議」を設置してきましたが、この1月に「吹田市新型インフルエンザ対策行動計画」がまとまりました。

概要（未発生段階）

吹田市での準備や対策

- ①周知・広報・啓発
- ②防護具等の準備
- ③発生時の業務体制の検討・準備
- ④ライフラインの確保
- ⑤福祉サービス利用者、要援護者等への対応の検討
- ⑥円滑なゴミ処理などの検討
- ⑦遺体への対応の検討
- ⑧救急搬送体制の準備

医療面での準備や対策

- ①発熱相談・発熱外来の設置
- ②各医療機関での発生時の対応の検討、準備



概要（発生時の対策—医療面での対策は省略—）

吹田市を中心とした対策

- ①新型インフルエンザ対策本部の設置
- ②正確・迅速な情報の入手と広報
- ③業務体制
（以下、④から⑧までは未発生時に検討された④から⑧までの具体化）
- ⑨吹田警察署との連携
- ⑩小康期の対応

詳細は、インターネットで、「吹田市ホームページ⇒市の組織・各課業務紹介⇒政策推進部⇒安心安全室⇒新型インフルエンザ対策について」でご確認ください。

すいた市民自治学習会「吹田市財政運営について」報告

すいた市議会通信No16でお知らせしていました学習会を4月11日（土）10時から開催しました。

平成21（2009）年度の一般会計予算として、市税収入が平成20（2008）年度約650億円から約634億円と約16億円と前年度比で2.5%減少しているにもかかわらず、予算額が平成20年（2008）年度約1,057億円から約1,100億円と前年度比で4.1%増加しています。これは今年度が北工場（ごみ焼却場）の建替最終年度となり、建替関連予算が増加したことが大きな要因であるとの説明でした。（表をご覧ください）



有意義な意見交換ができました

一般会計予算額		平成21年度当初	平成20年度当初	差（前年度比）
歳入	借入金	約106.4億円	約95.9億円	約10.5億円（11%）
	市債（借金）	約54.4億円	約26.5億円	約27.9億円（105.2%）
歳出	普通建設事業費	約159億円	約111億円	約48億円（42.7%）
予算額	歳入・歳出全体	約1,099.6億円	約1,056.7億円	約42.9億円（4.1%）

とくに財源不足を補うための繰入金（財政調整基金の取崩額）は41億円、同じく市債（臨時財政対策債（赤字地方債）の発行額）は25億円であり、合計66億円となっており、これは平成20年度（2008年度）の39億円、10億円、合計49億円に比べて17億円の増加となっています。

また、普通会計決算（吹田市の場合、一般会計とほぼ同じと見てよい）の財政指標等の推移をみると、市債現在高（借金の額）や公債費負担比率（借金返済額の全体に占める割合）は減少していますが、経常収支比率が相変わらず高く、財政の硬直化（自由に使えるお金が少ない）が進んでいます。

	平成16年度 (2004年度)	平成17年度 (2005年度)	平成18年度 (2006年度)	平成19年度 (2007年度)
経常収支比率（%）	96.4	93.9	93.0	96.8
公債費負担比率（%）	10.0	9.7	9.5	9.3
市債現在高（百万円）	68,558	68,012	67,836	65,970

今後、市税収入が伸びず、収入が減少していく中で、市民生活も同じように苦しくなっていきます。市民の暮らしを守るため、せめて福祉予算の現状維持を求めたいと思いますが、「ない袖は振れない」ということもあります。知恵を絞って無駄な出費をしないことが重要です。これからも議会のチェック機能をしっかりと果たしていきたいと考えています。